

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	前期	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース				1
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・試験 ・出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	池田式製図方法	基礎原型「レディース原型」/オリエンテーション	4/8	4/9			
2	手縫いの技法	ピンククッション製作	4/9	4/10			
3	手縫いの技法 ミシンの扱い方	基礎縫い・ミシン講義	4/10	4/11			
4	採寸方法	採寸/基礎縫い	4/11	4/12			
5	手縫いの技法/生地を購入方法	基礎縫い/日暮里生地屋案内	4/15	4/16			
7	池田式製図方法	基礎原型「第二原型」/基礎原型「メンズ原型」	4/16	4/17			
5	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	基礎縫い・トートバッグ製作	4/17	4/18			
5	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	基礎縫い・トートバッグ製作	4/18	4/19			
6	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	基礎原型「セミタイトスカート」 トートバッグ製作	4/22	4/23			
7	池田式製図方法	ダーツの展開 「①Wダーツ ②肩ダーツ ③袖ぐりダーツ」	4/23	4/24			
6	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	トートバッグ製作/セミタイトスカート製作	4/24	4/25			
8	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ダーツの展開「④斜め脇ダーツ ⑤後ろ衿ぐりダーツ ⑥パネルラインセミタイトスカート製作	4/25	4/26			
7	池田式製図方法	ダーツの展開 「⑦デザイン線利用 ⑧ヨーク1 ⑨ヨーク2」	4/30	4/30			
8	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	セミタイトスカート製作	5/1	5/1			
7	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ダーツの展開 部分製図 「⑩ボートネック ショールカラー」セミタイトスカート制作	5/7	5/7			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
8	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	スカート各種 セミタイトSK製作	5/8	5/8			
8	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	セミタイトスカート製作	5/9	5/9			
8	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	セミタイトスカート製作	5/13	5/10			
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース各種 シャツ製作	5/14	5/14			
9	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作	5/15	5/15			
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース各種 シャツ製作	5/16	5/16			
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース各種 シャツ製作	5/20	5/17			
9	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作	5/21	5/21			
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	部分製図「袖山パフスリーブ」 シャツ製作	5/22	5/22			
9	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	「フラットカラー」 シャツ製作	5/23	5/23			
9	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作	5/27	5/24			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作 ワンピース 製作	5/28	5/28			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	シャツ製作 ワンピース 製作	5/29	5/29			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	5/30	5/30			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/3	5/31			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師				
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/4	6/4			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/5	6/5			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/6	6/6			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/10	6/7			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/11	6/11			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/12	6/12			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/13	6/13			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/17	6/14			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/18	6/18			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/19	6/19			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/20	6/20			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/24	6/21			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/25	6/25			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/26	6/26			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	6/27	6/27			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	前期	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・試験 ・出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/1	6/28			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/2	7/2			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/3	7/3			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/4	7/4			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/8	7/5			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/9	7/9			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/10	7/10			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/11	7/11			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作	7/16	7/12			
10	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ワンピース製作		7/16			
		前期修了ショー1年リハーサル	7/17	7/17			
		前期修了ショー1年リハーサル	7/18	7/18			
		前期修了ショー		7/19			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		70/175	72/180	
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					デザイナー・パタンナー職3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	池田式製図方法	パンツ	9/2	9/3			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/3	9/4			
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ブラウス各種「ヨークシャツ」 パンツ製作	9/4	9/5			
2	池田式製図方法	ブラウス各種 「ワイシャツ」	9/5	9/6			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/9	9/10			
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ブラウス各種「フリル&ペプラムシャツ」 パンツ製作	9/10	9/11			
2	池田式製図方法	部分製図「ジャボ」 スカート各種「8枚はぎスカート」	9/11	9/12			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/12	9/13			
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	スカート各種「ボックスプリーツスカート」 パンツ製作	9/17	9/17			
2	池田式製図方法	スカート各種 「キュロットスカート」	9/18	9/18			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/19	9/19			
2	池田式製図方法 手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト パンツ製作	9/24	9/20			
2	池田式製図方法	ショールカラージャケット	9/25	9/24			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	部分縫い製作 「ポケット」	9/26	9/25			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	9/30	9/26			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	10/1	9/27			
2	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	パンツ製作	10/2	10/1			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/3	10/2			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/7	10/3			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/8	10/4			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/9	10/8			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/10	10/9			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/15	10/10			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/16	10/11			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/17	10/15			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/21	10/16			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/22	10/17			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/23	10/18			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	10/24	10/22			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作		10/23			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作		10/24			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作		10/25			
		海外研修期間	10/28	10/29			
		海外研修期間	10/29	10/30			
		海外研修期間	10/30	10/31			
		海外研修期間	10/31	11/1			
3	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	ベスト製作	11/5	11/5			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/6	11/6			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/7	11/7			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/11	11/8			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/12	11/12			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/13	11/13			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/14	11/14			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/18	11/15			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/19	11/19			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア		
			デザイナー・パタンナー職 3 年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅰ	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・試験 ・出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/20	11/20			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/21	11/21			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/25	11/22			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/26	11/26			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/27	11/27			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	11/28	11/28			
4	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作		11/29			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2, 5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		61/152.5	65/162.5	
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア		
			デザイナー・パタンナー職3年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期Ⅱ	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/2	12/3			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/3	12/4			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/4	12/5			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/5	12/6			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/9	12/10			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/10	12/11			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/11	12/12			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/12	12/13			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/16	12/17			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/17	12/18			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/18	12/19			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/19	12/20			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/23	12/24			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/24	12/25			
1	手縫い・ミシンの技術とアイテムの縫製方法	修了製作	12/25	1/7			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期Ⅱ	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・試験 ・出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/6	1/8			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/7	1/9			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/8	1/10			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/9	1/15			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/15	1/16			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/16	1/17			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/20	1/21			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/21	1/22			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/22	1/23			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/23	1/24			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/27	1/28			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/28	1/29			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/29	1/30			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	1/30	1/31			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作/作品撮り	2/3	2/4			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師				
必修		講義30% 実習70%	なし				
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア	デザイナー・パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	後期Ⅱ	服飾技術実習	アパレル技能科衣装製作コース				1
科目概要							
平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用し、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得をする。							
習得項目							
1. 各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2. 手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3. 服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4. 納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法							
・ 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・ 試験 ・ 出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/4	2/5			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/5	2/6			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/6	2/7			
1	アイテムの縫製方法 仮縫いの方法	修了製作	2/10	2/12			
1		FS期間	2/12	2/13			
1		FS期間	2/13	2/14			
1		FS期間	2/17	2/18			
1		FS期間	2/18	2/19			
1		FS期間	2/19	2/20			
1		FS期間	2/20	2/21			
1		FS期間	2/25	2/25			
1		FS期間	2/26	2/26			
1		FS期間	2/27	2/27			
1		FS期間		2/28			
1							
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		講義30% 実習70%	なし		54/135	55/137.5	
講師区分	常勤	講師名	中島・周郷		関係実務経験 3年以上のキャリア		
			デザイナー・パタンナー職 3 年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース			学年
令和 6 年		前期	ドレーピング	アパレル技能科衣装製作コース			1
科目概要							
寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーチング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。							
習得項目							
・ 布（シーチング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・ 実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。							
評価方法							
1 課題評価 布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 2 授業態度 出席率、集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。							
科目授業の実施計画				履修クラス			
				1KB	1KC		
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日		
1	手縫い技法		オリエンテーション/ピンクッション		4/8	4/8	
2	ミシンの扱い		トートバック		4/15	4/15	
3	手縫い技術習得		基礎縫い		4/22	4/22	
4	基礎知識		基礎縫い/ドレーピングについて、地直し		5/13	5/13	
5	ダーツの取り方（サイドーダーツ）		前原型 1		5/20	5/20	
5	ダーツの取り方（ショルダーダーツ）		後原型 1		5/27	5/27	
5	ピンの打ち方、縫い代の倒し方		原型組み立て		6/3	6/3	
6	ダーツの取り方（ショルダーダーツ）		前原型 2		6/10	6/10	
6	ダーツの取り方（ショルダーダーツ）		後原型 2		6/17	6/17	
6	ピンの打ち方、縫い代の倒し方		原型組み立て		6/24	6/24	
7	ダーツの取り方（ウエストーダーツ）		前原型 3		7/1	7/1	
7	ダーツの取り方（ウエストーダーツ） ピンの打ち方、縫い代倒し方		後原型 3 / 原型組み立て		7/8	7/8	
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）	
必修		講義30% 実習70%		なし		12/30	
講師区分	常勤	講師名	中島 由紀子		関係実務経験 3年以上のキャリア	パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	ドレーピング	アパレル技能科衣装製作コース	1			
寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーチング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。							
習得項目							
・ 布（シーチング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・ 実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。							
評価方法							
1 課題評価 布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 2 授業態度 出席率、集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	ボトムの基本・ウエストダーツ	前セミタイトスカート	9/2	9/2			
1	ボトムの基本・脇ラインの取り方	前セミタイトスカート	9/9	9/9			
1	ボトムの基本・ウエストダーツ	後セミタイトスカート	9/30	9/30			
1	ボトムの基本・脇ラインの取り方	後セミタイトスカート	10/7	10/7			
1	ボトムの基本・ベルトの付け方	組み立てセミタイトスカート	10/21	10/21			
		海外研修期間	10/28	10/28			
2	前ヨーク・身頃の作り方	前ヨーク・フレンチスリーブブラウス	11/11	11/11			
2	後ヨーク・身頃の取り方	後ヨーク・フレンチスリーブブラウス	11/18	11/18			
2	線入れ・縫い代付け	ヨーク・フレンチスリーブブラウス線入れ	11/25	11/25			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修	講義30% 実習70%		なし		9/22.5		
講師区分	常勤	講師名	中島 由紀子		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					パタンナー職 3 年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度		期	科目名	履修学科コース	学年		
令和 6 年		後期Ⅱ	ドレーピング	アパレル技能科衣装製作コース	1		
科目概要							
寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布（シーチング）をあて、組み立て型紙を作り出す、立体裁断という技法。							
習得項目							
・ 布（シーチング）、ピンの扱いを学ぶ。 ・ 実際のボディーフォルムに合わせて、ダーツ、デザインラインを作り表現していく。 ・ ボディーのフォルムに合わせて、ダーツをとり理解を深める。							
評価方法							
1 課題評価 布目、ピンの打ち方、布の扱い、ラインの取り方等。 2 授業態度 出席率、集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習対象。							
科目授業の実施計画				履修クラス			
				1KB	1KC		
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日		
1	理論・製図		洋裁技術検定（初級）対策		12/2	12/2	
1	理論・製図		洋裁技術検定（初級）対策		12/9	12/9	
1	理論・製図		洋裁技術検定（初級）対策		12/16	12/16	
2	理論・製図		洋裁技術検定（初級）対策 模擬テスト		12/23	12/23	
			修了ショー制作		1/6	1/6	
			修了ショー制作		1/20	1/20	
			修了ショー制作		1/27	1/27	
			FS週間/作品撮り		2/3	2/3	
			FS週間/基礎科ショーリハーサル		2/10	2/10	
			FS週間		2/17	2/17	
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）	
必修		講義30% 実習70%		なし		10/25	
講師区分	常勤	講師名	中島 由紀子		関係実務経験 3年以上のキャリア	パタンナー職 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	色彩学	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー（人それぞれに似合う色）概論を学ぶ。 色彩検定日　：6月23日（受験申込者のみ）							
習得項目							
文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。　さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 パーソナルカラーの概要を理解し、ファッションデザイン、ファッションスタイリング、販売やメイクアップ、ヘアカラーなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する（色彩応用編）。							
評価方法							
1. 課題評価 2. 授業姿勢（課題期限、出席率　などの評価項目）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	色彩検定の概要や取得目的を知る。 PCCSで色の成り立ちの基本を理解する	▪ 授業オリエンテーション ▪ 色の成り立ちと色の表示（PCCS）	4/9	4/9			
	PCCS表色系においての色の三属性、トーン、清濁などの理解。	▪ 色の表示（PCCS）	4/16	4/16			
	PCCS表色系を理解し配色に活かしていく。 色の心理的効果の習得。	▪ 色の表示（PCCS）、トーンマップの作成 ▪ 色彩心理（色の心理的効果　）	4/23	4/23			
	色の視覚効果の習得。	▪ 色彩心理（色の視覚効果　）	4/30	4/30			
	ファッションにおける色彩や流行色について理解。 色相配色をファッションを通して習得　。	▪ ファッションと色彩、流行色 ▪ 色彩調和①（PCCSを用いた色相配色）	5/7	5/7			
	色相配色とトーン配色をファッションを通して習得　。	▪ 色彩調和②（PCCSを用いた色相配色とトーン配色）	5/14	5/14			
	アクセントカラーなど様々な配色技法とその効果を習得。	▪ 色彩調和③アクセントカラー、セパレーション、グラデーション等	5/21	5/21			
	混色の理解とともに、写真やSNSなど印刷物やモニター画面の混色を理解する。	▪ 光と色①（混色と混色の身近な応用例　）	5/28	5/28			
	色が見えるしくみ、照明の色の見え方を理解する。	▪ 光と色②（色が見えるしくみ、照明の色　）	6/4	6/4			
	項目【全7項目】ごとの出題ポイントを理解する。	▪ インテリアと色彩　▪ 色名 ▪ 検定直前対策①	6/11	6/11			
〃	▪ 検定直前対策②	6/18	6/18				
2	カジュアルやモダンなど8種類の配色イメージをイメージスケールで理解する。	▪ イメージに合わせたファッションカラーコーディネート①	6/25	6/25			
	〃	▪ イメージに合わせたファッションカラーコーディネート②	7/2	7/2			
	ファッションにおけるイメージを理解し、イメージに合わせてコラージュ制作とカラーコーディネートが出来る。	▪ イメージに合わせたファッションカラーコーディネート③	7/9	7/9			
3	パーソナルカラー理論の基礎知識を習得。 色覚の多様性に配慮した、誰もがしやすい色使い。	▪ パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方 ▪ ユニバーサルカラーデザイン	7/16	7/16			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必修	講義100%				15D/ 37. 5H	15D/ 37. 5H	
講師区分	非常勤	講師名	堀川彩里		関係実務経験 3年以上のキャリア	文部科学省後援AFT色彩検定協会認定色彩講師 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	スタイル画	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
1. デッサンを通して表現力、想像力を学ぶ 2. ファッションスタイル画の理解と描画表現力を習得							
1. 正確なデッサン力、描画テクニック 2. 素材別表現力、描画テクニックの理解と知識							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、思考能力） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1		授業オリエンテーション	4/10	4/8			
	立体造形の理解と描画表現力	スタイル画概要 体のバランスとスタイル画について	4/17	4/15			
	〃	人物クロッキー（色彩無し）	4/24	4/22			
	〃	人物クロッキー（色彩有り）	5/1	5/13			
	〃	ディテール・ドローイング（手、足、顔）	5/8	5/20			
	〃	〃	5/15	5/27			
2	スタイル画の基礎描画力	スタイル画 ファッションドローイング/人物全身のバランス表現	5/22	6/3			
	〃	スタイル画 ファッションドローイング/シルエットのバランス表現	5/29	6/10			
	〃	スタイル画 ファッションドローイング/テキスタイル表現	6/5	6/17			
	〃	スタイル画 ファッションドローイング/テキスタイル表現	6/12	6/24			
3	スタイル画の描画応用力	スタイル画 ファッションドローイング/写真模写	6/19	7/1			
	〃	〃	6/26	7/8			
	〃	〃	7/3				
	プレゼン能力	総評・課題講評会	7/10				
		前期ショーリハーサル	7/17				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必須	講義10%/実習90%				15D/ 37. 5H	12D/ 30H	
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子		関係実務経歴 3年以上のキャリア		
					国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	前期	グラフィック実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得							
習得項目							
1. Illustrator、Photoshopの基礎知識・基礎技術の習得 2. デザイン構築のノウハウや、画像形式などのデジタル基礎知識を学ぶ							
評価方法							
1. 課題評価（技術面・表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	Mac室利用ルールの説明 授業内容とPC関係の説明	授業内容の説明、PC周辺機器に関する基礎知識（座学） Illustratorの画面説明と導入	4/12	4/10	/	/	/
2	基本操作の習得 （Illustrator）	Illustratorの基本操作習得 （選択、複数選択、図形ツール、変形、応用テクニック）	4/19	4/17			
3	基本操作の習得・実習 （図形で絵を描く）	Illustratorの基本操作習得 （線ツール、回転、反転、図形の組み合わせ、アイコンの作成）	4/26	4/24			
4	〃	Illustratorの基本操作習得 （コピー・ペースト、整列、重ね順、パスファインダー）	5/10	5/1			
5	〃	Illustratorの基本操作習得 （ペンツール、クリッピングパス）	5/17	5/8			
6	〃	Illustratorの基本操作習得 （パターンの作成、パターンの応用テクニック）	5/24	5/15			
7	〃	Illustratorの基本操作習得 （文字入れ、文字の種類と使い分け、組み方）	5/31	5/22			
8	〃	Illustratorの基本操作習得 （ワーブツール、エンベロップを使ったロゴ制作）	6/7	5/29			
9	〃	Illustratorの基本操作習得 （レイヤーの理解、画像のリンクと埋め込み）	6/14	6/5			
10	基本操作の習得・実習 （チラシ制作）	Illustratorの基本操作習得 （練習課題：チラシ制作）	6/21	6/12			
11	作品制作 （チラシ制作）	自分を紹介するチラシを作ろう （ガイドの制作、素材集め、コンセプト設定）	6/28	6/19			
12	前期課題完成・提出 前期期末テスト	作業時間、提出 Illustrator・Photoshopの基本知識、テクニックの振り返り	7/5	6/26			
13	プレゼン	チラシのコンセプト、工夫した点や見どころなどを説明	7/12	7/3			
14		前期修了ショー	7/19	7/10			
15		前期ショーリハーサル		7/17			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		実習100%			14/ 35h	15/ 357.h	/ / /
講師区分	常勤	講師名	田中 小百合		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					専門学校にて教員経験有 企業研修向けセミナーにて講師経験有		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅰ	グラフィック実習	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得 前期の内容を活かし、初心者～中級者レベルのスキルアップ							
習得項目							
1. Illustrator、Photoshopの基礎知識・基礎技術の習得 2. デザイン構築のノウハウや、画像形式などのデジタル基礎知識を学ぶ							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	デザインの構成方法	デザインの基本四原則、視線誘導について Jpeg、PNG、PDFの違い、使い分けについて	9/6	9/4	/	/	/
2	基本操作の習得 （Photoshop）	Photoshopの基本操作練習 （素材の開き方、レイヤーの説明、色調補正の基本的種類と説明）	9/13	9/11			
3	〃	Photoshopの基本操作練習 （色調補正：レベル補正、トーンカーブの応用、カラーバランス）	9/20	9/18			
4		パス遠足（予定）	9/27	9/25			
5	基本操作の習得 （Photoshop）	Photoshopの基本操作練習 （肌補正：修復ブラシツール、ハイパス、その他修正ツール）	10/4	10/2			
6	〃	Photoshopの基本操作練習 （画像の切り抜き：クリッピングパス、自動選択ツール、マスク）	10/11	10/9			
7	〃	Photoshop応用テクニック （合成写真の作り方、描画モードについて）	10/18	10/16			
8		運動会（予定）	10/25	10/23			
9		海外研修（予定）＆秋休み	11/1	10/30			
10	〃	Photoshop応用テクニック （解像度について、カラーモードの違い、ルックブック制作）	11/8	11/6			
11	基本操作の習得 （Photoshop）	文字の入力と編集 合成をつかった映画風ポスターの制作	11/15	11/13			
12	後期Ⅰ 中間テスト	制作時間、提出 後期Ⅰの知識、テクニックの振り返り	11/22	11/20			
13	基本操作の習得 （Photoshop）	Photoshopの基本操作練習 （ゆがみツール、フィルター、後期Ⅱ制作物の説明）	11/29	11/27			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		実習100%			13/ 32.5h	13/ 32.5h	/ / /
講師区分	常勤	講師名	田中 小百合		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					専門学校にて教員経験有 企業研修向けセミナーにて講師経験有		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年				
令和 6 年	後期Ⅱ	グラフィック実習	アパレル技能科衣装製作コース	1				
科目概要								
Macパソコンを利用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop）の基礎知識、基礎技術の習得 後期Ⅰの内容を活かし中級者～スキルアップ								
習得項目								
1. Illustrator、Photoshopの基礎知識・基礎技術の習得 2. デザイン構築のノウハウや、画像形式などのデジタル基礎知識を学ぶ								
評価方法								
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			1KB	1KC				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
1	Illustrator・Photoshop応用	「夏休みの過ごし方」をテーマに、見開きページの作成 Photoshopで写真加工、Illustratorでレイアウト制作	12/6	12/4	/	/	/	
2	〃	〃	12/13	12/11				
3	〃	オリジナルTシャツ、ブランドのモックアップ制作 Illustratorでデザイン制作、Photoshopでモックアップの合成	12/20	12/18				
4	〃	オリジナルTシャツ、ブランドの広報物制作 チラシ、ポスターなどの広報物を制作	1/10	12/25				
5	プレゼン・講評	制作物ついてプレゼン 工夫した点や、見どころなど	1/17	1/8				
6	後期Ⅱ期末テスト	後期Ⅱの知識、テクニックの振り返り	1/24	1/15				
7		FS期間	1/31	1/22				
8		FS期間	2/7	1/29				
9		FS期間	2/14	2/5				
10		FS	2/21	2/12				
11		FS	2/28	2/19				
12		FS		2/26				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）			
必修	実習100%				11/ 27.5h	12/ 30h	/ / /	
講師区分	常勤	講師名	田中 小百合		関係実務経験 3年以上のキャリア			専門学校にて教員経験有 企業研修向けセミナーにて講師経験有

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	前期	服飾史	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。 教科書 世界服飾史 深井晃子著 美術出版社							
習得項目							
知識として素材、形、構造を考える。下着、中衣、上着など。 製品、商品のデザインなどを理解して説明などに役立てる。							
評価方法							
レポート、課題の提出。 平常点 以上の平均点							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	衣服の起源	気候、環境、社会など	4/12	4/12			
2	衣服の形 素材	巻く、結ぶ、かぶる、毛、麻、綿、絹	4/19	4/19			
3	古代エジプト、メソポタミア	腰衣 ロインクロス	4/26	4/26			
4	古代ギリシャ、ローマ	巻き付ける ペブロス キトン	5/10	5/10			
5	ビザンチン ロマネスク	チュニック 上着	5/17	5/17			
6	ゴシック ルネサンス	上衣 下衣 男女	5/24	5/24			
7	バロック ロココ	フランス宮廷 コルセット	5/31	5/31			
8	フランス革命 ナポレオン	市民 軍服 古代回帰	6/7	6/7			
9	近代 市民革命	ドレス ジャケット パンツ シャツ	6/14	6/14			
10	世紀末	文化 様式 生活デザイン 既成服	5/21	5/21			
11	20世紀	近代 働く女性	6/28	6/28			
12	アールヌーボー、アールデコ	デザイン様式	7/5	7/5			
13	1930年台	新しい文化 アメリカの影響	7/12	7/12			
14	第二次世界大戦	現代の始まり	7/19	7/19			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		オンライン講義100%	なし		14/35h	14/35h	
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア		ファッション雑誌編集を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	就職ガイダンス	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。							
習得項目							
就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 選考内容の基礎知識							
評価方法							
各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1		オリエンテーション（授業説明、就職活動の流れ、就職意識調査）	9/3	9/3			
2	自己理解	自己分析（性格診断）、他己分析	9/10	9/10			
3	就職意欲向上	外部講師、講義予定（卒業生など）	9/17	9/17			
4	ビジネスマナー	基本マナー、敬語、挨拶	9/24	9/24			
5	企業理解口	求人情報の調べ方、就活ツール解説、登録口	10/1	10/1			
6	ビジネスマナー	電話、メール、コミュニケーション	10/8	10/8			
7	就職意欲向上	外部講師、講義予定（卒業生など）	10/15	10/15			
8	ビジネスマナー	クッション言葉、ビジネス慣用句、席次	10/22	10/22			
		海外研修期間	10/29	10/29			
9	就職意欲向上	外部講師、講義予定（卒業生など）	11/5	11/5			
10	面接でのアピール方法	オンライン選考対策（ツールの使い方）/自己PR対策、作成	11/12	11/12			
	↓	↓	11/19	11/19			
11	↓	志望動機対策/作成	11/26	11/26			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必修	講義50%実習50%		予定あり		13回/32. 5H	13回/32. 5H	
講師区分	常勤	講師名	中島由紀子、伏見幸恵、周郷亜樹奈		関係実務経験 3年以上のキャリア	なし	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	後期Ⅱ	就職ガイダンス	アパレル技能科衣装製作コース				1
科目概要							
就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。							
習得項目							
就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 選考内容の基礎知識							
評価方法							
各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
12	面接でのアピール方法	キャリア支援センターによる自己分析講座	12/3	12/3			
	↓	外部講師予定/面接マナー、対策	12/10	12/10			
13	ポートフォリオに必要な項目の把握	ポートフォリオ対策、作成	12/17	12/17			
	↓	↓	12/24	12/24			
14	企業に関する知識	志望企業リストアップ	1/7	1/7			
15	面接でのアピール方法	花王さんによる就活メイク講座	1/21	1/21			
		ファッションショー期間	1/28	1/28			
		↓	2/4	2/4			
		↓	2/18	2/18			
		↓	2/25	2/25			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必修		講義50%実習50%	予定あり		10回/25H	10回/25H	
講師区分	常勤	講師名	中島由紀子、伏見幸恵、周郷亜樹奈		関係実務経験 3年以上のキャリア		なし

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	後期 I	ベーシックデザイン	アパレル技能科衣装製作コース				1
科目概要							
1. アイデア、インスピレーションの膨らませかたを学ぶ 2. コンセプトやテーマの考え方と表現方法を学ぶ							
習得項目							
1. 造形表現力、プレゼンテーション力 2. 造形バランス、表現素材、手法への知識と応用							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、思考能力） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率 ）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
4	造形表現知識	ファッションショーのテーマ・カテゴリーを理解 修了ショー振り返りディスカッション	9/4	9/2	/	/	/
	”	修了ショーデザイン 自分の好きなデザイン系統についてコラージュ	9/11	9/9			
	”	”	9/18				
	”	”	9/25	9/30			
	”	カテゴリーとメンバー決め	10/2				
	”	”	10/9	10/7			
	”	修了ショーデザイン アイデア修正	10/16				
	プレゼン能力	修了ショーデザイン プレゼンテーション	10/23	10/21			
		海外研修予定	10/30	10/28			
5	創案表現力	造形デザイン演習 デザイン画をペーパークラフトで表現	11/6	11/11			
	”	”	11/13	11/18			
	”	造形デザイン演習 デザイン画をペーパークラフトで表現 修了ショーデザイン画完成提出	11/20	11/25			
	”	”	11/27				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必須		講義10%/実習90%	服飾技術実習		13D/ 32. 5H	9D/ 22. 5H	/ / /
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子		関係実務経験 3年以上のキャリア		国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年	
令和 6 年	後期Ⅱ	ベーシックデザイン	アパレル技能科衣装製作コース					1	
科目概要									
1. アパレル製品名称と製品構造の知識を学ぶ 2. 製品の基本からデザインの膨らませかたを学ぶ									
習得項目									
1. 製品のアイテム名、ディテール名などの知識習得 2. 製品構造を理解し、図に表現できるテクニックを習得									
評価方法									
1. 課題評価（技術面、思考能力） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）									
科目授業の実施計画			履修クラス						
			1KB	1KC					
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日						
6	アパレル製品構造知識	製品図（ハンガーイラスト）表現を学習	12/4	12/2	/	/	/		
	〃	〃	12/11	12/9					
7	アパレル製品構造表現力	パンツのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）演習	12/18	12/16					
	〃	ワンピースのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）演習	12/25	12/23					
	〃	ジャンパーのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）演習	1/8	1/6					
	〃	コートのバリエーション 製品図（ハンガーイラスト）演習	1/15						
	プレゼン応用力	総評・課題講評会	1/22	1/20					
		FS期間	1/29	1/27					
		〃	2/5	2/3					
		〃	2/12	2/10					
		〃	2/19	2/17					
		FS片づけ日	2/26						
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）				
必須		講義10%/実習90%			12D/ 30H	10D/ 25H	/	/	/
講師区分	非常勤	講師名	吉岡 文子		関係実務経験 3年以上のキャリア		国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期 I	ファッション素材学	アパレル技能科衣装製作コース	1			
科目概要							
アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦著							
習得項目							
繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方を知る。							
評価方法							
レポート、提出物 平常点 以上の平均点							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	アパレル素材とは 1	アパレルとは	9/6	9/6			
2	アパレル素材とは 2	繊維とファッション	9/13	9/13			
3	繊維の分類 名称 天然繊維	毛、麻、綿、絹	9/20	9/20			
4	繊維の分類 名称 化学繊維	再生繊維 半合成繊維 合成繊維	9/27	9/27			
5	糸について	綿 撚り 太さ 長さ	10/4	10/4			
6	織物の三原組織	平織、綾織 朱子織	10/11	10/11			
7	基本的な柄の名前	ストライプ チェック プリント	10/18	10/18			
8	秋冬の布	毛、加工 保温 防風	10/25	10/25			
9	素材の扱い	洗濯 プレス 保管	11/1	11/1			
10	編み物について	ニット製品	11/8	11/8			
11	裏地 芯地について	表地以外 付属品	11/15	11/15			
12	加工について	機能 見た目 手触り	11/22	11/22			
13	デニムとジーンズ	歴史と進化 日常着	11/29	11/29			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		オンライン講義	なし		13/32. 5h	13/32. 5h	
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					ファッション雑誌編集を 3 年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年
令和 6 年	後期Ⅱ	ファッション素材学	アパレル技能科衣装製作コース				1
科目概要							
アパレル製品の素材としての線に、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識 一見輝彦 著							
習得項目							
繊維の分類、種類、特性をしる。 生地、製品の取り扱い方をしる。							
評価方法							
レポート、提出物 平常点 以上の平均点							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			1KB	1KC			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	レースについて	織物、編み物以外	12/6	12/6			
2	皮と毛皮	織物、編み物以外	12/13	12/13			
3	不織布とフェルト	織物、編み物以外	12/20	12/20			
4	染色とプリント	無地と柄	1/10	1/10			
5	繊維の見分け方	性質	1/17	1/17			
6	新しい素材	化学とファッション	1/24	1/24			
7	繊維の見分け方	クリーニング	1/31	1/31			
		ショー週間	2/7	2/7			
		ショー週間	2/14	2/14			
		ファッションショー	2/21	2/21			
		ショー週間	2/28	2/28			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		オンライン講義	なし		11/27. 5h	11/27. 5h	
講師区分	常勤	講師名	古賀 由紀夫		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					ファッション雑誌編集を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年								
令和6年	後期Ⅱ	SNSマーケティング	アパレル技能科衣装製作コース	1								
科目概要												
SNSで会社やフリーランスでの仕事に必要な活用方法を学ぶ。 アカウントの開設から運用方法を学び、集客やブランディング方法、各SNSの特徴を理解する。 自分の作成したコンテンツをSNS上に披露する機会を作り、自身と相性の良いターゲット層や運用方法の理解を深める。												
習得項目												
・Instagram・Tik Tok・その他SNSの使い方を習得 ・撮影や動画、画像編集から文書作成を行えるようにする ・実際に投稿してアカウントの分析方法も学び、PDCAサイクルを自分で回せるようにする。												
評価方法												
授業態度、SNSの実績、各コンテンツのクオリティやテストで採点する。												
科目授業の実施計画			履修クラス									
			1KB	1KC								
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日									
1	アカウント開設と自己分析	オリエンテーション	12/3	12/3								
2	アカウントの運用分析	セルフブランディング	12/10	12/10								
3	コンテンツが作れる	Instagramの基礎と応用	12/17	12/17								
4	動画編集ができる	動画編集のやり方	12/24	12/24								
5	企画を考えて提案できる	企画書作成	1/7	1/7								
6	撮影から投稿までできる	撮影と編集	1/21	1/21								
7	FS期間		1/28	1/28								
8	FS期間		2/4	2/4								
9	FS期間		2/18	2/18								
10	FS期間		2/25	2/25								
選択区分			授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師			期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）				
必修			オンライン講義100%		（株）レイワンダッシュ			10/25h	10/25h			
講師区分	非常勤	講師名	廣瀬 龍也			関係実務経験 3年以上のキャリア		アパレルブランド等のSNSメーカーとして活動3年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	前期	テクニカル工芸	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
刺繡基礎・立体スモッキング・つまみ細工							
習得項目							
・立体スモッキング基礎/仕立て方・つまみ細つまみ工/丸つまみ・剣つまみ・仕立て方・刺繡基礎							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、表現、思考面 1. 授業姿勢(課題期限、出席率などの評価科目)							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
			4/8	4/8			
1	刺繡糸の扱い方・図案	刺繡基礎	4/15	4/15			
1	基本的な刺し方	刺繡基礎	4/22	4/22			
1	基本的な刺し方	刺繡基礎	5/13	5/13			
1	スパンコール・ビーズ	刺繡基礎	5/20	5/20			
2	線の引き方基礎	立体スモッキング	5/27	5/27			
2	スモッキング	立体スモッキング	6/10	6/10			
2	スモッキング・作品	立体スモッキング・作品作り	6/3	6/3			
3	つまみ細工	つまみ細工のはじまり	6/17	6/17			
3	基礎つまみ細工	つまみ細工基礎・土台作り・丸つまみ・剣つまみ	6/24	6/24			
3	応用つまみ細工	つまみ細工・葉っぱ・下がり・ドーム型	7/1	7/1			
3	珍しいつまみ細工	縫いつまみ・仕立て方	7/8	7/8			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必須		実技80%講義20%	なし		12D/ 30H	12D/ 30H	/ / /
講師区分	非常勤	講師名	榎谷 孝子		関係実務経験 3年以上のキャリア		手芸講師、縫製講師を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅰ	テクニカル工芸	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
コルセット縫製・編物・装花の作り方							
習得項目							
・コルセットの作りかた/バスク、ボンハトメ　・装花/染色・仕立て・こてあて							
評価方法							
1.課題評価（技術面、表現、思考面）2.授業姿勢、出席率、などの評価項目）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	コルセットとは	コルセットデザイン	9/2	9/2			
1	コルセットの製図	コルセット製図	9/9	9/9			
1	縫い方基本	コルセット縫製	9/30	9/30			
1	ボーンの入れ方	コルセット縫製	10/7	10/7			
1	バスクの付け方	コルセット縫製	10/21	10/21			
			10/28	10/28			
1	仕上げ	コルセット飾り付け	11/11	11/11			
2	裁断	装花・染色	11/18	11/18			
2	染色	装花・作り方（染色）	11/25	11/25			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必須	実技80%講義20%		なし		9D/ 22. 5H	9D/ 22. 5H	/ / /
講師区分	非常勤	講師名	榎谷 孝子		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					手芸講師、縫製講師を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	アパレル技能科衣装製作コース	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
コルセット縫製・編物・装花の作り方							
習得項目							
・装花/染色・仕立て・こてあて　・編み物基本/かぎ針編み/鎖編み・細編み　・輪の編み方・なが編み　・棒針編み/とじかた							
評価方法							
項目事に習熟度、理解力、完成度の平均値で算出し評価する。（出席率75%未満成績評価75%未満成績60点未満の場合は補習対象）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
2	こてあて	装花・作り方（こてあての仕方）	12/2	12/2			
2	仕立て方	装花・作り方（仕立て）	12/9	12/9			
2	装花革・作り方（染色）	革の扱い方	12/16	12/16			
3	かぎ針編み基礎	編物かぎ針編み	12/23	12/23			
3	棒針編み基礎	編物棒針編み	1/6	1/6			
3	作品応用	編み物作品	1/20	1/20			
			1/27	1/27			
			2/3	2/3			
			2/10	2/10			
			2/17	2/17			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必須	実技80%講義20%		なし		10D/ 25H	10D/ 25H	/ / /
講師区分	非常勤	講師名	榎谷 孝子		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					手芸講師、縫製講師を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年								
令和6年	前期	産学連携実習	アパレル技能科衣装製作コース	2								
科目概要												
服飾繊維資材を扱っている会社のショールームを見学し、市場をリサーチする。 工業用ミシンを用いて各種部分縫いを製作し、就職後に必要な知識とスキルを身につける。												
習得項目												
ショールームの見学や市場リサーチを通して、今後の作品製作に活かせる思考力を高める。 工業用ミシンの扱い方を習得する。 部分縫いを通し、縫製知識を習得する。												
評価方法												
・課題評価(レポート、縫製技術、期限) ・授業態度 ・出席率												
科目授業の実施計画			履修クラス									
			2TA	2TB								
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日									
0		オリエンテーション	4/8	4/8								
1	工業用ミシンの扱い方	授業概要説明・工業用ミシン	4/15	4/15								
1	各種ディティールの縫製方法	部分縫い作成 (スラッシュ開き・持ち出し付き見返し開き)	4/22	4/22								
1	各種ディティールの縫製方法	部分縫い作成 (バイピング角・丸)	5/13	5/13								
1	各種ディティールの縫製方法	部分縫い作成 (前立て4種)	5/20	5/20								
1	各種ディティールの縫製方法	部分縫い作成 (前立て4種)	5/27	5/27								
1	各種ディティールの縫製方法	部分縫い作成 (刺ボロ)	6/3	6/3								
1	各種ディティールの縫製方法	部分縫い作成 (バッチ中縫いポケット)	6/10	6/10								
2	リサーチ能力強化	文化学園服飾博物館見学	6/17	6/17								
2	レポート作成能力	レポート作成	6/24	6/24								
2	服飾副資材の知識 リサーチ能力強化(株)SHINDO	ショールーム見学	7/1	7/1								
2	レポート作成能力	レポート作成	7/8	7/8								
選択区分			授業形態(講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師			期別授業回数 / 時間数(2限=2.5H)				
必修			講義50% 実習50%		株式会社SHINDO			12D/ 30H	12D/ 30H	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子 花園和年			関係実務経験 3年以上のキャリア		テキスタイル/プリント/MD 5年 海外アパレル製品 パイヤー20年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅰ	産学連携実習	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
ファッションや衣装に関する展示会・展覧会の鑑賞、レポートの作成を行う。 縫製の工場見学を行い、レポートの作成を行う。							
習得項目							
展示会・展覧会の鑑賞を通して知識を深め、今後の作品製作に活かせる思考力を高める。 縫製工場の見学を通して、現場の状況を知り就職先の幅を広げる。 また、上記に伴うレポートの作成能力を高める。							
評価方法							
・課題評価(レポート) ・授業態度 ・出席率							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
3	観劇体験	劇団四季公演観劇	9/2	9/2	/	/	/
3	レポート作成能力	レポート作成	9/9	9/9			
3	パレエの知識	パレエ公演（ゲネ希望）	9/30	9/30			
3	レポート作成能力	感想レポート	10/7	10/7			
4	パレエの知識	パレエについて予習	10/21	10/21			
4	パレエ衣装デザイン企画方法と協調性 有限会社b.c.costume.	有限会社b.c.costume. 授業概要説明・グループ分け	10/28	10/28			
4	パレエ衣装デザイン企画方法と協調性 有限会社b.c.costume.	有限会社b.c.costume. 初回講義（太田社長来校）	11/11	11/11			
4	パレエ衣装デザイン企画方法と協調性 有限会社b.c.costume.	パレエ衣装デザイン企画 デザイン画作成	11/18	11/18			
4	パレエ衣装デザイン企画方法と協調性 有限会社b.c.costume.	パレエ衣装デザイン企画 デザイン画作成・素材集め	11/25	11/25			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	講義50% 実習50%		有限会社b.c.costume.		9D/ 22.5H	9D/ 22.5H	/ / /
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子 花園和年		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					テキスタイル/プリント/MD 5年 海外アパレル製品 パイヤー20年		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年								
令和 6 年	後期Ⅱ	産学連携実習	アパレル技能科衣装製作コース	2								
科目概要												
衣装企画としてバレエ・オペラ等の衣装製作リース会社の太田社長から、実際に使われている衣装のデザイン設定や衣装の製作過程などの講義を受ける。またバレエ衣装のデザイン企画、発表をする。												
習得項目												
衣装会社の仕事内容を理解し、就職した際の心構えを身につける。 デザイン企画を通しプレゼンテーション能力を高める。												
評価方法												
・ 課題評価(デザイン企画) ・ 授業態度 ・ 出席率												
科目授業の実施計画			履修クラス									
			2TA	2TB								
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日									
4	バレエ衣装デザイン企画方法と協調性	バレエ衣装デザイン企画 グループワーク(資料作成)	12/2	12/2	/	/	/					
4	バレエ衣装デザイン企画方法と協調性	バレエ衣装デザイン企画 グループワーク(資料作成)	12/9	12/9								
4	バレエ衣装デザイン企画方法と協調性	バレエ衣装デザイン企画 プレゼン練習	12/16	12/16								
4	バレエ衣装デザイン企画方法と協調性	バレエ衣装デザイン企画 プレゼン練習	12/23	12/23								
5	プレゼンテーション能力	有限会社b. c. costume. プレゼン①	1/6	1/6								
5	プレゼンテーション能力	有限会社b. c. costume. プレゼン②	1/20	1/20								
5		有限会社b. c. costume. 表彰式	1/27	1/27								
6		DPTショー週間	2/3	2/3								
6		DPTショー週間	2/10	2/10								
6		BSDPTショー週間	2/17	2/17								
選択区分			授業形態(講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師			期別授業回数 / 時間数(2限=2.5H)				
必修			講義50% 実習50%		有限会社b. c. costume.			10D/ 25H	10D/ 25H	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子 花園和年			関係実務経験 3年以上のキャリア		テキスタイル/プリント/MD 5年 海外アパレル製品 バイヤー20年				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	衣装製作実習	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
衣装製作者、衣装デザイナーとしてのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む							
習得項目							
1. 薄物部分縫い、薄物素材の扱い方 2. ヘッドドレス×1、帽子×1 計2点 3. 薄物素材による衣装製							
評価方法							
平常点30%、提出物70%、作品製作、課題提出							
			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	縫製の強化	薄物部分縫い 三つ巻き、巻きロック、袋縫い	4/9	4/11	/	/	/
1	縫製の強化	薄物部分縫い 三つ巻き、巻きロック、袋縫い	4/10	4/12			
1	縫製の強化	薄物部分縫い 三つ巻き、巻きロック、袋縫い提出	4/16	4/18			
2	縫製、デザイン力の強化	ヘッドドレス製作1点、帽子1点、計2点デザイン画	4/17	4/19			
2	縫製の強化	ヘッドドレス&帽子製作	4/23	4/25			
2	縫製の強化	ヘッドドレス&帽子製作	4/24	4/26			
2	縫製の強化	ヘッドドレス&帽子製作	4/30	5/9			
2	縫製の強化	ヘッドドレス&帽子製作	5/1	5/10			
2	縫製の強化	ヘッドドレス&帽子製作提出	5/7	5/16			
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターンスタート	5/8	5/17			
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターン、トワル組み	5/14	5/23			
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターン、トワル組み *ピギーズスタート	5/15	5/24			
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターン、トワル組み、ピギーズ	5/21	5/30			
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターン、トワル組み、ピギーズ *後期1アイドル衣装のチーム分けする	5/22	5/31			
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターン、トワル組み、ピギーズ	5/28	6/6			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		実技80%講義20%	なし			/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子	関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレル デザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	衣装製作実習	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
衣装製作者、衣装デザイナーとしてのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む							
習得項目							
1. 薄物部分縫い、薄物素材の扱い方 2. ヘッドドレス×1、帽子×1 計2点 3. 薄物素材による衣装製作							
評価方法							
平常点30％、提出物70％、作品製作、課題提出							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
3	パターン、トワル組みの強化	前期ショー、パターン、トワル組み、ピギーズ	5/29	6/7	/	/	/
3	パターン、トワル組みの強化口	前期ショー、パターン、トワル組み、ピギーズ	6/4	6/13			
4	フォルムの確認、パターン力の強化	フォルムの確認、パターン力の強化	6/5	6/14			
4	フォルムの確認、パターン力の強化	前期ショー、トワルチェック、パターン修正	6/11	6/20			
4	フォルムの確認、パターン力の強化	前期ショー、トワルチェック、パターン修正	6/12	6/21			
5	縫製の強化	前期ショー縫製	6/18	6/27			
5	縫製の強化	前期ショー縫製	6/19	6/28			
5	縫製の強化	前期ショー縫製	6/25	7/4			
5	縫製の強化	前期ショー縫製	6/26	7/5			
5	縫製の強化	前期ショー縫製	7/2	7/11			
5	縫製の強化	前期ショー縫製、ピギーズパターン上がり	7/3	7/12			
5	縫製の強化	前期ショー縫製、ピギーズパターン上がり	7/9				
5	縫製の強化	前期ショー縫製提出	7/10				
5	縫製の強化	前期ショー縫製見直し	7/16				
6	表現力	前期終了ショーリハーサル	7/17				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		実技80％講義20％	なし			/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					国内アパレル デザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年		
令和 6 年	前期	衣装製作実習	アパレル技能科衣装製作コース					2		
科目概要										
衣装製作者、衣装デザイナーとしてのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む										
習得項目										
1. 薄物部分縫い、薄物素材の扱い方 2ヘッドドレス×1、帽子×1 計2点 3. 薄物素材による衣装製作										
評価方法										
平常点30%、提出物70%、作品製作、課題提出										
科目授業の実施計画						履修クラス				
						2TA	2TB			
ステップ	習得目標		学習内容・課題			授業予定日				
6	表現力		前期終了ショーリハーサル			7/18	7/18	/	/	/
6	表現力		前期終了ショー			7/19	7/19			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年
令和 6 年	後期 I	衣装製作実習	アパレル技能科衣装製作コース					2
科目概要								
衣装制作、縫製、デザインのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む								
習得項目								
オリジナルデザインのアイドル衣装 舞台映えする作り方								
評価方法								
平常点 3 0 %、提出物 7 0 %、作品製作、課題提出								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			2TA	2TB				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
1	縫製、パターン力の強化	アイドル衣装制作スタート （ビギーズ縫製スタート）	9/3	9/5	/	/	/	
1	パターン力の強化	パターン製作	9/4	9/6				
1	パターン力の強化	パターン製作	9/10	9/12				
2	トワル組みの強化	トワル組み	9/11	9/13				
2	トワル組みの強化	トワル組み	9/17	9/19				
2	トワル組みの強化	トワル組み	9/18	9/20				
3	フォルム感の強化	トワルチェック	9/24	9/26				
3	フォルム感の強化	トワルチェック	9/25	9/27				
3	フォルム感の強化	トワルチェック	10/1	10/3				
4	パターン力の強化	縫製作業、パターン修正（ビギーズ作品上がり）	10/2	10/4				
4	縫製力の強化	縫製作業	10/8	10/10				
4	縫製力の強化	縫製作業	10/9	10/11				
4	縫製力の強化	縫製作業	10/15	10/17				
4	縫製力の強化	縫製作業	10/16	10/18				
4	縫製力の強化	縫製作業	10/22	10/24				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）			
必修		実技80%、 講義20%	なし			/	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子		関係実務経験 3年以上のキャリア		国内アパレル デザイナー職を 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年		
令和 6 年	後期 I	衣装製作実習	アパレル技能科衣装製作コース					2		
科目概要										
衣装制作、縫製、デザインのスキルを磨く 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む										
習得項目										
オリジナルデザインのアイドル衣装 舞台映えする作り方										
評価方法										
平常点 3 0 %、提出物 7 0 %、作品製作、課題提出										
科目授業の実施計画						履修クラス				
						2TA	2TB			
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日					
4	縫製力の強化□		縫製作業		10/23	10/25	/	/	/	
4	縫製力の強化□		縫製作業		10/29	10/31				
4	縫製力の強化□		縫製作業		10/30	11/1				
4	縫製力の強化□		アイドル衣装提出		11/5	11/7				
5	表現力の強化		アイドル衣装撮影		11/6	11/8				
6	パターンカの強化□		卒制スタート		11/12	11/14				
6	パターンカの強化□		パターン製作、トワル組み		11/13	11/15				
6	パターンカの強化□		パターン製作、トワル組み		11/19	11/21				
6	パターンカの強化□		パターン製作、トワル組み		11/20	11/22				
6	トワル組みの強化		パターン製作、トワル組み		11/26	11/28				
6	トワル組みの強化		パターン製作、トワル組み		11/27	11/29				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）				
必修		実技80%、 講義20%		なし		39D/ 97. 5H	39D/ 97. 5H	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレル デザイナー職を 3 年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年		
令和 6 年	前期	就職キャリアデザイン	アパレル技能科衣装製作コース					2		
科目概要										
就職活動やキャリア形成のために必要な知識・マナーを習得する。 就職活動を促進するような企業説明会の実施。										
習得項目										
エントリーシート、履歴書、ポートフォリオ等、就活で必要となる提出書類の作成。 面接時に必要となるマナーや質問事項への回答。 SPIや一般常識などの筆記試験対策。										
評価方法										
各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。										
科目授業の実施計画						履修クラス				
						2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題			授業予定日					
1	書類作成方法□	オリエンテーション（就活の流れ、24年新卒採用状況）			4/9	4/9	/	/	/	
2	書類作成方法□	企業研究（応募企業探し）			4/16	4/16				
3	書類作成方法□	書類作成（履歴書、エントリーシート作成）			4/23	4/23				
3	書類作成方法□	書類作成（履歴書、エントリーシート作成）			4/30	4/30				
4	グループディスカッションの内容把握	グループディスカッション対策			5/7	5/7				
5	グループディスカッションの内容把握	面接解説（マナー指導、よくある出題と対策）			5/14	5/14				
6	説明会の受け方	企業説明会 ①ツツキ			5/21	5/21				
7	面接でのアピール方法	模擬面接			5/28	5/28				
7	面接でのアピール方法	模擬面接			6/4	6/4				
8	説明会の受け方	企業説明会② フォルムアイ			6/11	6/11				
9	面接でのアピール方法	実技テスト練習			6/18	6/18				
10	説明会の受け方	企業説明会③ タカラ			6/25	6/25				
11	資料製作まとめ方	ポートフォリオ作成			7/2	7/2				
11	資料製作まとめ方	ポートフォリオ作成			7/9	7/9				
11	資料製作まとめ方	ポートフォリオ作成			7/16	7/16				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）				
必修		講義 6 0 % 実習40%		株式会社フォルムアイ 他		15D/ 37.5H	15D/ 37.5H	/	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子・小泉 舞		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレル デザイナー職を 3 年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年		
令和6年	前期	服飾製図	アパレル技能科衣装製作コース					2		
科目概要										
様々なデザインを衣服に作成する為に必要な製図力（パターン） 作成構成力、素材の適応性を学ぶ										
習得項目										
製図、パターン作成、縫製力、素材の取り扱い方										
評価方法										
1、課題評価 2、筆記試験 3、授業態度（集中度、参加度）										
科目授業の実施計画						履修クラス				
						2TA	2TB			
ステップ	習得目標		学習内容・課題		授業予定日					
1			採寸の注意、原型の作り方		4/11	4/10	/	/	/	
2			補正の講義		4/18	4/17				
3			スカートバリエーション		4/25	4/24				
4			〃		5/9	5/1				
5			〃		5/16	5/8				
6			〃		5/23	5/15				
7			〃		5/30	5/22				
8			テーラーカラージャケット製図		6/6	5/29				
9			テーラーカラージャケット製図		6/13	6/5				
10			テーラーカラージャケット製図		6/20	6/12				
11			テーラーカラージャケット製図		6/27	6/19				
12			前期ペーパーテスト		7/4	6/26				
13			テーラージャケット		7/11	7/3				
/14			テーラージャケット			7/10				
					7/18	7/17				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）				
必修		講義80% 実習20%		なし		28D/ 70H	30D/ 75H	/	/	/
講師区分	非常勤	講師名	榎谷 孝子		関係実務経験 3年以上のキャリア	手芸講師、縫製講師を3年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅰ	服飾製図	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
素材の違いによるパターンの変化 軽衣料、中衣料、重衣料の時の製図の留意点							
習得項目							
ジャケットの構成、製図、展開方、縫製工程、アイロンの使い方							
評価方法							
1、課題評価（テーラーカラージャケットの制作進行度） 2、授業態度（出席率、集中度、授業参加度）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1		テーラーカラージャケットの各自製図	9/5	9/4	/	/	/
2		〃	9/12	9/11			
3		〃	9/19	9/18			
4		ジャケット仮縫い 工業用パターン作成	9/26	9/25			
5		ジャケット制作	10/3	10/2			
6		〃	10/10	10/9			
7		〃	10/17	10/16			
8		ジャケット提出	10/24	10/23			
			10/31	10/30			
9		製図	11/7	11/6			
10		製図	11/14	11/13			
11		製図	11/21	11/20			
12		製図	11/28	11/27			
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		実習80% 講義20%	なし		26D/ 65H	26D/ 65H	/ / /
講師区分	非常勤	講師名	榎谷 孝子		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					手芸講師、縫製講師を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	服飾製図	アパレル技能科衣装制作コース	2			
科目概要							
様々なデザインを衣服に作成するために必要な製図力作成構成力、素材の適応性							
習得項目							
製図パターン作成力素材の扱い方 手作業の習得							
評価方法							
1、課題評価 2、筆記試験 3、授業態度							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2A	2B			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1		ブラウス袖製図	12/5	12/4	/	/	/
2		ワンピースの製図展開	12/12	12/11			
3		〃	12/19	12/18			
4		ペーパーテスト	1/9	12/25			
5		シャツ製図	1/16	1/8			
6		まとめ	1/23	1/15			
/7		自由課題		1/22			
		ショー週間	1/30	1/29			
		ショー週間	2/6	2/5			
		ショー週間	2/13	2/12			
		ショー週間	2/20	2/19			
		ショー週間	2/27	2/26			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実習80%講義20%		なし		22D/ 55H	24D/ 60H	/ / /
講師区分	非常勤	講師名	榎谷 孝子		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					手芸講師、縫製講師を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	卒業制作ファッションショー制作実習	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を考える。衣装デザインを準備する。							
習得項目							
1. 話し合いの協調性・自己主張 2. デザインの発想力を養う。							
評価方法							
1. 課題評価（話し合いの協調性・自己主張 ・デザインの発想力での評価） 2. 授業姿勢（出席率・授業態度）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	話し合いの協調性口	ショー全体の説明、授業の流れ リーダー、サブリーダー決める	4/12	/	/	/	/
2	発想力を高める	クラス内で 1 人 1 案出して 1 人ずつ発表 3 案に決める、資料作り	4/19				
2	発想力を高める	3 案のプレゼン資料作りパワポにて	4/26				
2	話し合いの協調性	3 案× 4 クラス＝ 1 2 案の説明、共有	5/10				
2	プレゼンテーション力を高める	プレゼンに向けての資料作り	5/17				
3	プレゼンテーション力を高める	プレゼン練習	5/24				
3	プレゼンテーション力を高める	全体テーマ決め理事長プレゼン本番、B見学	5/31				
4	話し合いの協調性	カテゴリー大きく分ける（分け方）	6/7				
4	話し合いの協調性	グループ名話し合い、資料作り	6/14				
4	発想力を高める	資料作り	6/21				
5	プレゼンテーション力を高める	資料の修正、プレゼン練習	6/28				
5	プレゼンテーション力を高める	カテゴリー決め理事長プレゼン	7/5				
		自習予備日	7/12				
		前期修了ショー	7/19				
		* たたき台のデザイン画、夏休みの宿題 * 9 月～デザイン画スタート、1 0 月末にデザイン画上がり					
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）		
必修		実技 8 0 %・講義 2 0 %	なし		14D/ 35H	/	/
講師区分	常勤	講師名	石川和男、鷺 典子、福永 葵		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレル デザイナー職を 3 年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	前期	アパレルデザイン演習	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
1. アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う 2. 自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う 3. マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ							
習得項目							
1. コンセプトの考え方、製作作品表現方法を習得 2. アパレル素材に対する知見を得る							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、思考能力、探求心） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
1	テーマ、コンセプト、イメージ理解力①	授業説明・ビギーズ校内コンペ作画（2T） ヘッドドレス、帽子デザイン画製作（2T） 授業説明・ジーンズ・ジャケット資料収集（2D）	4/12	4/9			
	”	”	4/19	4/16			
	”	”	4/26	4/23			
2	テーマ、コンセプト、イメージ理解力②	YKKファスニングアワード コンテスト用デザイン作画		4/30			
	”	”	5/10	5/7			
	”	”	5/17	5/14			
3	コンセプトへの柔軟な思考と理解 素材表現方法向上	デザイン演習 企業デザイナーとは	5/24	5/21			
	”	デザイン演習 コンセプトに基づいたデザイン考案 テーマパーク制服/ウェディングドレス/アイドル衣装/舞台衣装など 素材に合わせた作画方法	5/31	5/28			
	”	”	6/7	6/4			
	”	”	6/14	6/11			
	”	”	6/21	6/18			
	”	”	6/28	6/25			
	プレゼン能力、アピール能力	プレゼンテーション	7/5	7/2			
	”	講評会	7/12	7/9			
		前期修了ショーリハ / 前期修了ショー	7/19	7/16			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必須	講義10%/実習90%		衣装製作実習 卒業制作ファッションショー制作実習		14D/ 35H	15D/ 37.5H	
講師区分	非常勤	講師名	吉岡		関係実務経験 3年以上のキャリア		国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース				学年			
令和 6 年	後期 I	アパレルデザイン演習	アパレル技能科衣装製作コース				2			
科目概要										
1. アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う 2. 自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う 3. マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ										
習得項目										
1. コンセプトの考え方、製作作品表現方法を習得 2. アパレル素材に対する知見を得る										
評価方法										
1. 課題評価（技術面、思考能力、探求心） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）										
科目授業の実施計画			履修クラス							
			2TA	2TB						
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日							
4	アイディア収集能力 デザイン応用表現力 デザイン構築力	卒業修了ショーデザイン 卒業作品アイデアまとめ（2T） リゾートアイテムデザイン演習（2D）	9/6	9/3						
	”	”	9/13	9/10						
	”	”	9/20	9/17						
	”	”		9/24						
		バス遠足予定	9/27							
5	デザイン表現力 デザイン構築力	デザイン実習 クロージングアート作成		10/1						
	”	”	10/4	10/8						
	”	”	10/11	10/15						
	”	” 卒業修了ショーデザイン完成提出（2T）	10/18	10/22						
		運動会予定	10/25							
		海外研修予定	11/1	10/29						
6	企画能力、プレゼン能力、アピール能力	ポートフォリオ完成度アップ	11/8	11/5						
	”	”	11/15	11/12						
	プレゼン能力、アピール能力	ポートフォリオプレゼンテーション	11/22	11/19						
	”	講評会	11/29	11/26						
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）				
必須		講義10%/実習90%		卒業制作ファッションショー制作実習		13D/ 32.5H	13D/ 32.5H			
講師区分	非常勤	講師名	吉岡		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上				

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和6年	後期Ⅱ	アパレルデザイン演習	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
1. アパレルデザインの目的を理解し、コンセプトやアイデア発想能力を養う 2. 自己の考えについてのプレゼンテーション能力、アピール能力を養う 3. マーケットリサーチを通して商品と作品の違いを学ぶ							
習得項目							
1. コンセプトの考え方、製作作品表現方法を習得 2. アパレル素材に対する知見を得る							
評価方法							
1. 課題評価（技術面、思考能力、探求心） 2. 授業姿勢（課題提出期限、出席率）							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
7	デザイン応用の表現力	作品製作実習 卒業制作作品の完成度アップ考察（テキスタイル編）	12/6	12/3			
	〃	〃	12/13	12/10			
	〃	作品製作実習 卒業制作作品の完成度アップ考察（アクセサリ編）	12/20	12/17			
	〃	〃		12/24			
	〃	卒業制作実習 卒業制作各自作品製作	1/10	1/7			
	〃	〃	1/17				
	〃	〃	1/24	1/21			
		FS期間	1/31	1/28			
		〃	2/7	2/4			
		〃	2/14	2/18			
		〃					
		FS	2/21				
		FS片づけ日		2/25			
		FS振替休日	2/28				
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必須	講義10%/実習90%		服飾技術実習		11D/ 27.5H	10D/ 25H	
講師区分	非常勤	講師名	吉岡		関係実務経験 3年以上のキャリア		
					国内アパレルブランドデザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年				
令和 6 年	後期 I	ビジネスPCワーク	アパレル技能科衣装製作コース	2				
科目概要								
Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章処理技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成、関数の使用法を習得。 Powerpointを使用したプレゼン資料の作成技術を習得。								
習得項目								
1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成、校正を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼン資料の作成、構成を身に着ける。								
評価方法								
授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			2TA	2TB				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
1	Word基礎レベルの理解	Windows機の基本操作 ＜Word＞タイピング練習、簡単なビジネス文書の作成	9/3	9/3				
	”	＜Word＞ 表入り文書、画像入り文書の作成	9/10	9/10				
	”	＜Word＞ 図形やテキストボックスを使用したイラスト文書の作成	9/17	9/17				
2	Word実務レベルの理解	＜Word＞ ビジネス文書の校正	9/24	9/24				
	”	＜Word＞ ヘッダー・フッターを使用したプレスリリース文書の作成	10/1	10/1				
	”	＜Word＞ 各種検定試験演習	10/8	10/8				
3	Excel基礎レベルの理解	＜Excel＞ 簡単な表の作成、四則計算	10/15	10/15				
	”	＜Excel＞ SUM、AVERAGE、MAX、MIN ／ グラフ作成①	10/22	10/22				
		海外研修期間	10/29	10/29				
3	”	＜Excel＞ グラフ作成②	11/5	11/5				
4	Excel実務レベルの理解	＜Excel＞ 応用関数①（絶対参照、IF、RANK）	11/12	11/12				
	”	＜Excel＞ 応用関数②（COUNT、COUNTIF、他）	11/19	11/19				
	”	＜Excel＞ 応用関数③（VLOOKUP）	11/26	11/26				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）			
必修		講義10% ・ 実習90%	なし		13回/ 32.5 h	13回/ 32.5 h		
講師区分	常勤	講師名	鶴本 望		関係実務経験 3年以上のキャリア		IT関連技術指導3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年			
令和 6 年	後期Ⅱ	ビジネスPCワーク	アパレル技能科衣装製作コース	2			
科目概要							
Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章処理技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成、関数の使用法を習得。 Powerpointを使用したプレゼン資料の作成技術を習得。							
習得項目							
1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成、校正を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼン資料の作成、構成を身に着ける。							
評価方法							
授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。							
科目授業の実施計画			履修クラス				
			2TA	2TB			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日				
4	Excel実務レベルの理解	<Excel> 各種検定試験演習	12/3	12/3			
5	PowerPointで目的の資料を作成	<PowerPoint> プレゼン資料作成①	12/10	12/10			
	〃	<PowerPoint> プレゼン資料作成②	12/17	12/17			
	〃	<PowerPoint> プレゼン資料発表、講評	12/24	12/24			
6	習得内容の確認	期末試験前総復習	1/7	1/7			
	〃	期末試験	1/21	1/21			
7		ファッションショー期間	1/28	1/28			
		〃	2/4	2/4			
		〃	2/18	2/18			
		〃	2/25	2/25			
8							
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修		講義10% ・ 実習90%	なし		10回/25h	10回/ 25h	
講師区分	常勤	講師名	鶴本 望		関係実務経験 3年以上のキャリア		IT関連技術指導3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年
令和 6 年	後期Ⅱ	卒業製作実習	アパレル技能科衣装製作コース					2
科目概要								
卒業制作ファッションショー衣装制作 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む 素材、デティール研究								
習得項目								
卒業制作ファッションショー衣装制作								
評価方法								
平常点３０％、提出物７０％、作品製作、課題提出								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			2TA	2TB				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
1	フォルム感の強化	トワル組み	12/3	12/5	/	/	/	
1	フォルム感の強化	トワル組み	12/4	12/6				
2	フォルム感の強化	衣装制作トワルチェック	12/10	12/12				
2	フォルム感の強化	衣装制作トワルチェック	12/11	12/13				
2	パターン力の強化	衣装制作トワルチェック、パターン修正	12/17	12/19				
3	縫製力の強化	縫製作業	12/18	12/20				
3	縫製力の強化	縫製作業	12/24	1/9				
3	縫製力の強化	縫製作業	12/25	1/10				
3	縫製力の強化	縫製作業	1/7	1/16				
3	縫製力の強化	縫製作業	1/8	1/17				
3	縫製力の強化	縫製作業	1/15	1/23				
3	縫製力の強化	縫製作業	1/21	1/24				
3	縫製力の強化	縫製作業	1/22	1/30				
3	縫製力の強化	縫製作業（卒制ショー期間）	1/28	1/31				
3	縫製力の強化	縫製作業（卒制ショー期間）	1/29	2/6				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2.5H）		
必修		実技80%、 講義20%		なし		/	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内アパレル デザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース					学年
令和 6 年	後期Ⅱ	卒業製作実習	アパレル技能科衣装製作コース					2
科目概要								
卒業制作ファッションショー衣装制作 衣装のフォルム、バランス感覚を掴む 素材、デティール研究								
習得項目								
卒業制作ファッションショー衣装制作								
評価方法								
平常点３０％、提出物７０％、作品製作、課題提出								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			2TA	2TB				
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
3	装飾の強化	縫製作業（卒制ショー期間）	2/4	2/7	/	/	/	
3	装飾の強化	縫製作業（卒制ショー期間）	2/5	2/13				
3	装飾の強化	縫製作業（卒制ショー期間）	2/12	2/14				
3	装飾の強化	卒制提出日（卒制ショー期間）	2/18	2/20				
4	表現力の強化	卒業制作ショー	2/19	2/21				
5		片付け	2/25	2/27				
5		片付け	2/26	2/28				
選択区分		授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2 限=2. 5H）			
必修		実技80%、 講義20%	なし		34D/ 85H	33D/ 82. 5H	/	/
講師区分	常勤	講師名	鷺 典子		関係実務経験 3年以上のキャリア		国内アパレル デザイナー職を３年以上	